社会資本総合整備計画　防災・安全交付金　令和07年11月21日

計画の名称	弘前市の下水道における防災・安全対策の実現													
計画の期間	令和０３年度　～　令和０７年度　(5年間)											重点配分対象の該当		
交付対象	弘前市													
計画の目標	処理場・ポンプ場・管渠の老朽化した機械・電気・建築設備等の改築（長寿命化対策・更新）を行い、効率的な下水道施設の管理運営を図るとともに、弘前市における継続的な水質保全の確保と安全・安心・快適な暮らしを実現する。 浸水対策事業の計画策定を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	2, 994	A	2, 994	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R3当初）	（R5末）	（R7末）
1	弘前市下水処理場の改築更新達成率を0%（R3当初）から100%（R7末) に増加させる。			
	下水道ストックマネジメント計画に基づく改築の達成率 改築済みの施設数（箇所）／改築をすべき施設数（箇所）	0%	54%	100%
2	弘前処理分区管渠の改築更新達成率を0%（R3当初）から100%（Ｒ７末）に増加させる。			
	下水道ストックマネジメント計画に基づく改築の達成率 改築済みの管渠の延長（km）／改築をすべき管渠の延長（km）	0%	55%	100%
3	弘前処理分区、岩木処理分区、百沢処理区マンホールポンプの改築更新達成率を0%（R3当初）から100%（Ｒ７末）に増加させる。			
	下水道ストックマネジメント計画に基づく改築の達成率 改築済みのマンホールポンプ個数(個)／改築をすべきマンホールポンプの個数（個）	0%	52%	100%
4	弘前市下水処理場の耐水化達成率を0%(R5当初）から100%（R7末）に増加させる。			
	耐水化計画に基づく耐水化の達成率 耐水化済みの施設数（箇所）／耐水化をすべき施設数（箇所）	0%	0%	100%
5	中継ポンプ場の改築更新達成率を0%(R7当初）から100%(R7末）に増加させる。			
	下水道ストックマネジメント計画に基づく改築の達成率 改築済みの施設数（箇所）／改築をすべき施設数（箇所）	0%	0%	100%
6	中継ポンプ場の耐震化達成率を0%(R7当初）から100%(R7末）に増加させる。			
	下水道ストックマネジメント計画に基づく改築の達成率 改築済みの施設数（箇所）／改築をすべき施設数（箇所）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靭化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000697078

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R03	R04	R05	R06	R07	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	終末処理場	改築	弘前市下水処理場	機械設備、電気設備改築（沈砂池、ポンプ室、管理室、電気室、監視制御）	弘前市	■	■	■	■	■	986		策定済
		ストックマネジメント																	
	A07-002	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	終末処理場	改築	下水処理場の耐水・耐震化	下水処理場の耐水化・耐震化等	弘前市	■	■	■	■	■	483		策定済
	A07-003	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	管渠（汚水）	改築	弘前処理分区（管渠）	管渠更生　L=3,715m　人孔蓋更新　N=56箇所	弘前市	■	■	■	■	■	979		策定済
		ストックマネジメント																	
	A07-004	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	ポンプ場	改築	弘前処理分区・岩木処理分区（マンホールポンプ）	マンホールポンプ場改築　N=27箇所	弘前市	■	■	■	■	■	177		策定済
		ストックマネジメント																	
	A07-005	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	－	－	調査・設計等	ストックマネジメント計画策定等	弘前市	■	■	■	■	■	271		－
		ストックマネジメント																	
	A07-006	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	管渠（雨水）	新設	内水浸水解析	内水ハザードマップ・内水浸水想定区域図の作成　A=4,325ha	弘前市			■			40		－

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R03	R04	R05	R06	R07	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											小計						2, 936		
水道・下水道事業	A07- 007	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	ポンプ場	改築	中継ポンプ場	中継ポンプ場改築　N=4箇所	弘前市					■	35		－
		ストックマネジメント																	
	A07- 008	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	ポンプ場	改築	中継ポンプ場の耐震化	中継ポンプ場の耐震化　N=4箇所	弘前市					■	23		－
		ストックマネジメント																	
											小計						58		
											合計						2, 994		

案件番号：　0000697078

交付金の執行状況

（単位：百万円）

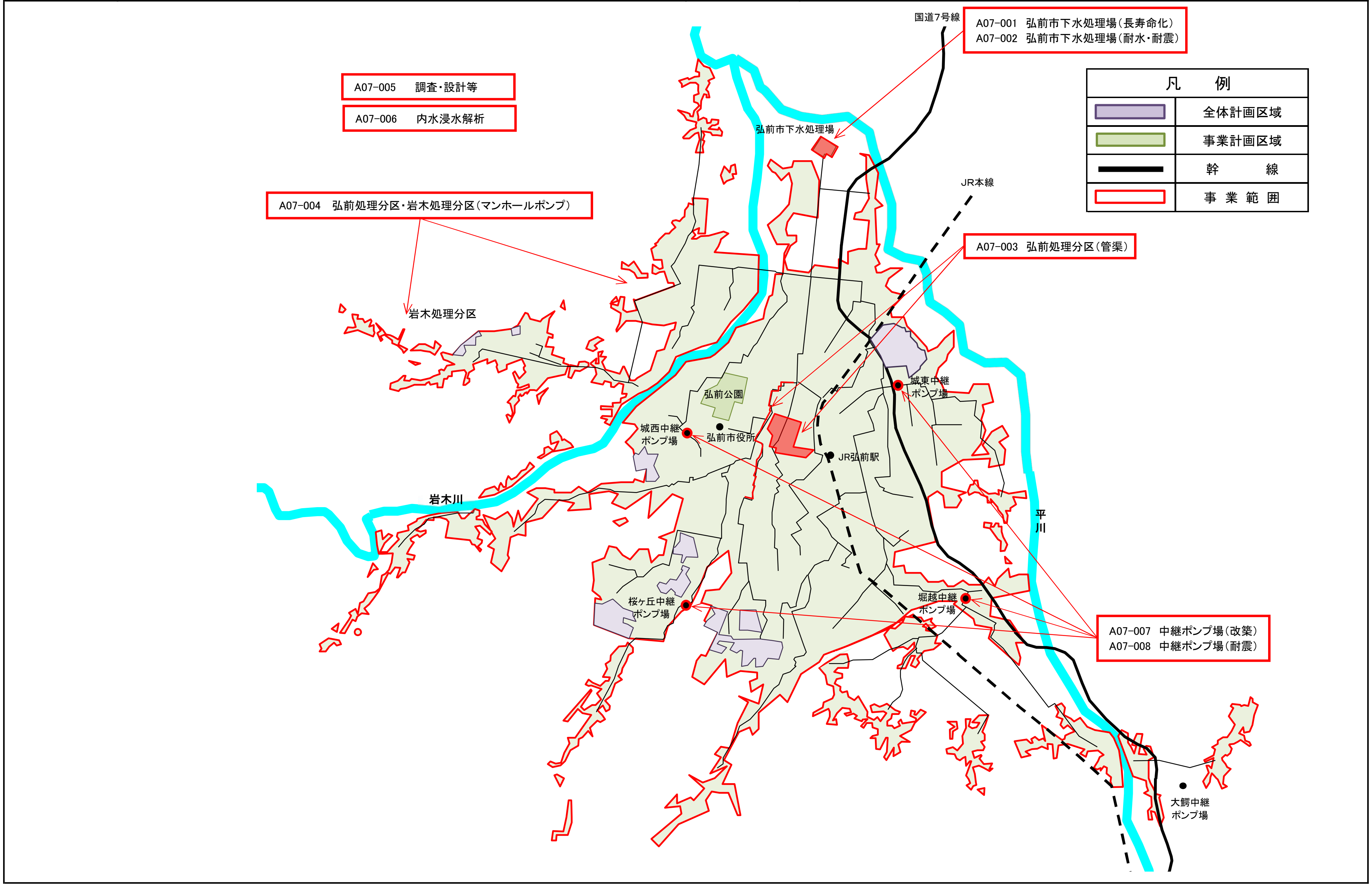
	R03	R04	R05	R06	
配分額（a)	204	103	238	120	
計画別流用増△減額（b)	0	0	0	0	
交付額（c=a+b)	204	103	238	120	
前年度からの繰越額（d)	0	115	77	93	
支払済額（e)	89	141	301	169	
翌年度繰越額（f）	115	77	14	44	
うち未契約繰越額(g)	115	5	14	44	
不用額（h = c+d-e-f）	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率（i =（g+h)/(c+d)）%	56.37	2.29	4.44	20.65	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	R3補正に伴う計画に関する諸条件の変更（事業計画の再検討）のため			計画に関する諸条件（交通規制）の調整に不測の時間を要したため	

事前評価チェックシート

計画の名称： 弘前市の下水道における防災・安全対策の実現

事　　前　　評　　価	チェック欄
Ｉ． 目標の妥当性	
上位計画に基づき弘前市公共下水道事業計画を策定し、事業促進を図っていることから整合している。	○
Ｉ． 目標の妥当性	
ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設を効率的に管理・運営することにより整合が図られている。	○
II． 計画の効果・効率性	
ストックマネジメント計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	○
II． 計画の効果・効率性	
定量的指標は、下水処理場、ポンプ場、管渠の老朽化した機械・電気・建築設備の改築を行い長寿命化対策を定量的にとらえており、効率的な管理・運営に適した数値である。	○
II． 計画の効果・効率性	
事業内容は効率的な下水道施設の管理・運営に関わる事業としており、計画の目標と整合している。	○
II． 計画の効果・効率性	
下水処理場・ポンプ場及び管渠の老朽化した機械・電気・建築設備の改築（長寿命化対策）を行うことにより、ライフサイクルコストの縮減を図る事ができる。	○
III．計画の実現可能性	
地域毎に住民説明を行うなどし、下水道事業計画に対する理解・協力を経て事業執行を図っている。	○
III．計画の実現可能性	
個人設置型合併浄化槽事業と連携し、市全体の汚水処理施設整備の促進を図り、早期の汚水処理人口普及率の向上を目指している。また、河川清掃美化運動などにより、下水道の普及啓発も行っている。	○
Ｉ． 目標の妥当性	
②地域の課題への対応１）地域の課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。	○
II． 計画の効果・効率性	
③目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II． 計画の効果・効率性	
④事業の効果１）十分な事業効果が確認されている。	○
III．計画の実現可能性	
⑤円滑な事業遂行の環境１）持続可能な下水道事業を執行するための体制が整備されている。	○

案件番号：0000697078

（参考様式）参考図面

計画の名称	弘前市の下水道における防災・安全対策の実現		
計画の期間	令和3年度　～　令和7年度　（5年間）	交付対象	弘前市